

# 「ICTに係る先進的医療施設」への視察

～「愛媛県内の医療機関における電波利用推進協議会」が住友別子病院を視察～

四国総合通信局電波利用環境課が事務局をしている「愛媛県内の医療機関における電波利用推進協議会」（会長：石原謙愛媛大学教授）は、平成29年11月15日（水）、ICTに係る先進的医療施設である住友別子病院（新居浜市）の視察見学会を開催しました。医療機関、教育機関、通信事業者、建築事業者等からなる協議会の構成員の13機関から29名が参加しました。

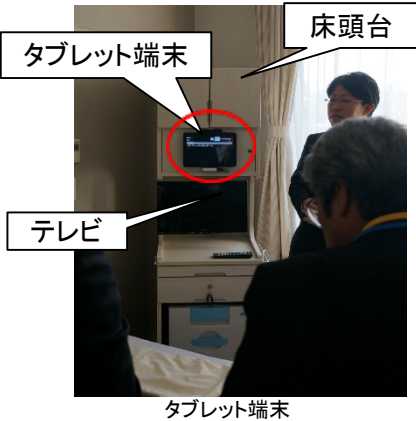
視察の冒頭、石原会長が同病院及び関係者の協力で視察が実施できたことへの謝辞の上、「是非、最先端の病院をご覧になり、患者のため、スタッフのためにどのような電波利用が望ましいか考えていただき、また、ビジネスの芽を感じていただきたい。」と挨拶されました。

同病院森理事の挨拶に続いて乗松篤情報システム室長から、病院ネットワーク設備等の説明や、新病院棟建設に当たって策定した3つの目標「①電子カルテをはじめとする情報インフラの構築」「②病院のネットワークをはじめとする新ネットワークインフラの整備」「③患者サービスとして床頭台を含めた患者に直接使ってもらう環境の整備」について説明がありました。

その後、病院ネットワーク設備等の施工事業者であるNEC西尾スマートネットワーク部主任、住友電設岡前情報通信システム事業部主席からネットワークについての説明の後、院内（サーバー室、病室、ナースセンター、外来待合室）見学を行い、病院職員から参加者への説明、質疑応答を行いました。



挨拶する石原 謙 会長



**患者サービスの向上に関するピクトグラム方式の紹介**（ベッドサイドの床頭台にタブレット端末※1を設置） ※1 5GHz帯無線LANで接続

- ・電子カルテに入力された情報が表示される。
- ・医師の指示は図式化された形（ピクトグラム）で表示される。
- ・オーダーや検査スケジュールが表示される。
- ・看護師が電子カルテを見なくても、患者がその日何をしなければならないかわかる。
- ・患者と看護師間のコミュニケーションツールとしても利用可能。
- ・看護師が最も多くの時間を費やしている患者の体温、血圧などのバイタルデータを電子カルテに入力する作業が、NFC対応の機器を端末にかざすだけになり激減。
- ・病院によってはテレビを表示端末としているところもあるが、患者のテレビ視聴を妨げないよう専用のタブレット端末を用意。



説明模様

患者名	東京 太郎	検査日	10月05日(水)
かな	トウキョウ タロウ		
検査日	10月05日(水)		
検査項目	検査日 (ポータブル)		
08:30	血液浄化予約		
09:00	再診予約		

患者名	東京 太郎	検査日	10月05日(水)
かな	トウキョウ タロウ		
検査日	10月05日(水)		
検査項目	検査日 (ポータブル)		
08:30	血液浄化予約		
09:00	再診予約		

タブレット端末に表示されたスケジュール※2

※2 画像提供住友別子病院

## 情報インフラ、ネットワークの紹介

病院情報のネットワークに関しては、旧病院では、基幹系、情報系、開放系、音声系がばらばらに作られていた。新病院棟ではそれらを統合したほか、ナースコールも連携させた。また、電子錠、監視カメラ情報を含むセキュリティも統合させることとした。そして、これらを統合するサーバー室を設けた。



ピクトグラム表示※2

【お問い合わせ先】 電波監理部 電波利用環境課 089-936-5055